

午後の五時 (2003)

A CINQ HEURES DE L'APRES-MIDI
AT FIVE IN THE AFTERNOON

メディア 映画

ジャンル ドラマ

製作国 イラン／フランス

色彩 Color

時間 105分

初公開日 2004/07/03

公開情報 東京テアトル

【キャッチコピー】

タリバン政権が崩壊した後、女性にも学校が開放された。
彼女達の中に、アフガニスタンの大統領になりたいという夢を持つ女性がいた。

【解説】

タリバン政権崩壊後のアフガニスタンを舞台に、なおも女性には厳しい社会環境の中で純粋に自由と希望を求め行動するひとりのアフガン女性を描いたヒューマン・ドラマ。監督はイランの巨匠の娘にして早熟の天才監督「ブラックボード 背負う人」のサミラ・マフマルバフ。2003年のカンヌ国際映画祭で審査員賞を受賞。なお、サミラの妹ハナが監督した「ハナのアフガンノート」は、困難を極めた本作の製作準備過程を追ったドキュメンタリー。

タリバン崩壊後のアフガニスタン。これまで就学や就労を厳しく禁じられてきたアフガンの女性たちは、それぞれに将来への希望を抱き始めていた。そんな女性のひとり、ノクレ。彼女は、“アフガニスタンの大統領になって、戦争をなくしたい”という夢を持っている。しかし彼女の父親は、女性が学問をすることは神への冒涇、と信じている敬虔なイスラム教徒。娘のノクレも当然、神学校へ通わされていた。だが夢を捨てきれない彼女は送り迎えをしてくれる父の目を盗み、神学校へ行くフリをしてこっそり普通学校に通い、一般的な学問を学んでいたのだった。

【クレジット】

監督	サミラ・マフマルバフ	Samira Makhmalbaf
製作	モフセン・マフマルバフ	Mohsen Makhmalbaf
脚本	サミラ・マフマルバフ	Samira Makhmalbaf
	モフセン・マフマルバフ	Mohsen Makhmalbaf
撮影	サミラ・マフマルバフ	Samira Makhmalbaf
	エブライム・ガフォリ	Ebrahim Ghafari
編集	モフセン・マフマルバフ	Mohsen Makhmalbaf
出演	アゲレ・レザイ	Aghelah Rezaie
	アブドルガニ・ヨセフラジー	Abdolgani Yousefrazi
	ラジ・モヘビ	Razi Mohebi
	マルズィエ・アミリ	Marzieh Amiri